

平成 21 年度環境技術実証事業検討会 VOC 簡易測定技術分野 ワーキンググループ設置要綱

1. 開催の目的

環境技術実証事業 VOC 簡易測定技術分野では、平成 20 年度の検討において、本年度から実証事業を進めることが確認され、実証試験要領が作成された。これを踏まえ、本年度の実証事業を円滑に進めると共に、平成 22 年度以降を見据えた、より良い実施スキームを検討することを目的とし、VOC 簡易測定技術分野ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を設置する。

2. 調査検討事項

- (1) 実証機関の選定
- (2) 実証試験結果報告書の検討
- (3) 平成 22 年度実証試験要領の検討
- (4) 技術ユーザー、ベンダーのニーズを踏まえた分野運営改善策の検討

3. 組織等

- (1) ワーキンググループは、検討員 10 名以内で構成する。
- (2) ワーキンググループに座長を置く。
- (3) 座長は、ワーキンググループを総理する。
- (4) 検討員は、VOC 簡易測定技術分野の実証試験に関連する学識経験者、有識者等から環境省の同意を得て株式会社三菱総合研究所が委嘱する。
- (5) 検討員の委嘱期間は、株式会社三菱総合研究所が委嘱した日から当該日の属する年度の末日までとする。
- (6) その他、必要に応じ環境技術実証事業に参画する者、利害関係者等をオブザーバー等として参加させることができることとする。

4. 審議内容等の公開等

本ワーキンググループは原則、公開で行うこととする。但し、公開することにより、公正かつ中立な検討に著しい支障を及ぼすおそれがある場合、特定な者に不当な利益もしくは不利益をもたらすおそれがある場合には、座長はワーキンググループを非公開にできるものとする。

5. 庶務

ワーキンググループの庶務は、環境省の同意を得て株式会社三菱総合研究所において処理する。

平成 21 年度環境技術実証事業検討会
VOC 簡易測定技術分野ワーキンググループ 検討員名簿

有園 幸司	熊本県立大学環境共生学部 教授
岩崎 好陽	社団法人 におい・かおり環境協会 会長
坂本 和彦	埼玉大学大学院理工学研究科 教授
佐々木 裕子	明治薬科大学 客員研究員
須藤 勉	埼玉県青空再生課 主幹
土井 潤一	日本産業洗淨協議会 理事
三笠 元	社団法人 日本環境技術協会 常務委員

<事務局（環境省）>

秦 康之	総合環境政策局	総務課環境研究技術室	室 長
夏井 智毅	総合環境政策局	総務課環境研究技術室	係 長
坂井 美穂子	総合環境政策局	総務課環境研究技術室	主 査
早水 輝好	水・大気環境局	大気環境課	課 長
山田 克之	水・大気環境局	大気環境課	課長補佐
西村 三男	水・大気環境局	大気環境課	係 長

<事務局（株式会社三菱総合研究所）>

内野 尚	環境・エネルギー研究本部	資源システム研究グループ	主任研究員
長谷川 健	環境・エネルギー研究本部	資源システム研究グループ	主任研究員
水上 知広	環境・エネルギー研究本部	資源システム研究グループ	研究助手